

# 富谷小だより

渋谷区立  
富谷小  
学校通信

## 挑戦する夏休みに

先日、歳時記を読んでいて、「夏休み」を季語にした次の俳句に出合いました。

教科書じゃ 学べないこと 夏休み（中村 恵美）  
クレヨンの 白だけ残る 夏休み（田村 すみむ）

いよいよ、長い夏休みが始まります。子供たちには、上の俳句のように、様々な挑戦や体験をして、一回りたくましく成長する夏休みを過ごしてほしいと願っています。

夏休み期間中に、5年生は那須自然体験教室に、6年生は日光高原学園に、それぞれ出かけます。那須でも日光でも、渋谷にはない自然や文化に触れ、登山やハイキングを通して、たくさんの気付きが生まれることだと思います。また、家人の人から離れて、友達と集団行動・集団生活をすることにも大きな学びがあると思います。充実した2泊3日になるように、引率者一同、精一杯支えます。

先日の児童朝会で、「挑戦する夏休みにしよう」というテーマで話をしました。

この話をするにあたり、私は、自分自身が学生だった頃の夏休みを思い出しました。

高校生の頃、私は、学校の部活動とは別に、市内各校（私は、長野市内の高校に通っていました）の高校生が集まるボランティアサークルに所属していました。1年生の夏休み、子供たちを1泊2日のキャンプに連れて行く活動に参加しました。主催は、市の社会福祉協議会だったと思います。私の担当するお子さんは、小学校の2年生になった「あっくん」という自閉的傾向のあるお子さんでした。事前に交流会を2回ほどして、協議会の人と一緒に家庭訪問もしてキャンプ当日を迎えるました。あっくんは、私になつ

校長 石川 亜由美

てくれて、キャンプも楽しみしてくれました。このキャンプは、私にとっても挑戦でしたが、それ以上に、あっくんにとって大きな挑戦だったと思います。家の人と離れて参加するキャンプです。もしかしたら不安があったかもしれません、二日間を楽しんでくれていたと記憶しています。また、我が子を送り出す保護者の方にとっても大きな挑戦だったと思います。あっくんの成長を考えて決断したのだと思います。そして、高校生の私たちを信じてお子さんを預けてくださいました。

「挑戦」には大きく三つの種類があると思います。「得意なことへの挑戦」、「苦手なことへの挑戦」、「新しいことへの挑戦」の三つです。

自分の得意なことについて、さらに向上を目指して挑戦していくのが「得意なことへの挑戦」です。モデルになる人を目指したり具体的な目標を立てたりして、それに近付こうと自分自身を高めていくことになります。

それに対して「苦手なことへの挑戦」では、モデルとなる人を目指すというよりは、少し前の自分自身よりよりよい自分になろうと挑戦し、努力を続けていくことになると思います。「苦手に挑戦」することは、自分自身を磨くことになります。

そして「新しいことへの挑戦」は、自分の世界を広げることにつながります。人がしているのを見たり人からすすめられたりしてことを、まずやってみることで、興味や関心が広がったり、自分自身の可能性が広がったりします。

「挑戦の種」は身近なところにあります。自由研究のテーマを吟味して取り組むことも挑戦の一つだと思います。長い夏休みです。子供たちには、「この夏はこれに取り組んだ」と言えるものをつくってほしいと願っています。